

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道210号 田原拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	大分県
起終点	おおいた 大分市大字横瀬 おおいた 大分市大字木の上	延長	1.1 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道210号は九州横断自動車道と共に九州北部横断軸の骨格を形成する、福岡県久留米市と大分市を結ぶ延長約143kmの主要幹線道路である。当該区間は、一次改築は成されているが交通容量不足による渋滞、歩道未設置による歩行者の危険等の問題があるが、本事業はこれらの問題を解消し、安全で快適な道路空間の確保・円滑な交通流確保を実現、広域交流及び地域活性化に大きく寄与するものである。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>一般国道210号は、大分県西部地域（日田・玖珠地方生活圈等）と大分市を結ぶ、主要な幹線道路である。大分市西部地区の玄関口となる当該区間は、道路交通の要所となっており、近年、大型施設の開発等により交通が急増している状況にもかかわらず、急増する交通への対応が間に合わず慢性的な交通渋滞が発生している。また、当該区間は歩道が未設置であり、近接小中高生の安全な通学路が確保できない。よってこれらの問題を解決するため、早急な改善が必要である。</p> <p>全体事業費：25億円 計画交通量：29,300台/日</p> <p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

国道210号拡幅(田原拡幅)は、産業、経済、文化の広域交流はもとより、渋滞対策、交通安全の向上には欠かせない路線として、地元では沿道市町村長らで結成される「国道210号改修促進協議会（会長：大分市長）」をはじめ、自治会、PTA等各団体で結成された整備促進期成会が多数あり、早期の拡幅改良整備の要望を受けている。

- 事業採択の前提条件**
- ・ 便益が費用を上回っている
 - ・ 円滑な事業執行の環境が整っている
 - ・ ルート決定済み（都市計画決定：昭和53年10月）

事業評価結果

費用対便益	B/C	9.6	総費用：21億円 （事業費：20億円 維持管理費：1億円）	総便益：201億円 （走行時間短縮便益：194億円 走行費用減少便益：5億円 交通事故減少便益：2億円）	基準年：平成16年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=10.5 (交通量 +10%)	B/C=8.6 (交通量 -10%)		
		事業費変動	B/C=8.7 (事業費 +10%)	B/C=10.7 (事業費 -10%)		
	事業期間変動	B/C=9.1 (事業期間 +20%)	B/C=9.9 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		渋滞交差点を解消する その他の特徴 主要渋滞ポイントの解消（富士見ヶ丘団地入口交差点、旅行速度19.9km/h 40.0km/h）		
		事故対策		死傷事故が多い区間の事故の減少が見込まれる その他の特徴 年間10件以上発生している死傷事故の減少		
		歩行空間		歩行者の安全性向上 （現在歩道がない区間に歩道が設置される：通学路であり、自転車歩行者交通量554人台/日である区間1.1kmの自転車歩行者道の設置）		
	社会全体への影響	住民生活		医療施設へのアクセス向上 （二次医療施設救命センターへの搬送時間短縮に寄与する道路である 大分郡部方面(庄内町)～救命センター 約35分 約33分 約2分短縮）		
		地域経済	-	注目すべき影響はない。		
		災害		緊急輸送道路を形成 （現道で発生する渋滞が解消され、一次緊急輸送道路の機能確保が図られる。）		
環境			Co2排出量の削減 （本区間の整備により自動車からのCo2排出量が1139t/年削減される）			
	地域社会	-	注目すべき影響はない。			
事業実施環境	-	注目すべき影響はない。				

採択の理由

道路交通の要所となっており、近年、大型施設の開発等により交通が急増している状況にもかかわらず、急増する交通への対応が間に合わず慢性的な交通渋滞が発生している。また、当該区間は歩道が未設置であり、近接小中高生の安全な通学路が確保できない。以上より本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。